



■ 説明会、関係ない？いえ、全員関係あります

これから進路希望に向けて活動していくにあたり、説明会で説明を聞く機会が増えていきます。これまでとは異なり、全員が同じ動きをするわけではありません。7月9日の説明会でも話がありますが、進路活動を進めるにあたりさまざまな書類を提出する必要がありますし、書類が出てこないことには学校も動くことができません。自分の将来に関しては、しっかりと自分で動いていきましょう。

また、みなさんは進路室の資料や職員室の赤本(過去問)を利用していますか？進路室では、府中西の先輩方が試験を受けた際の報告書や合格体験記が数年分閲覧することができます。夏前の対策用に、ぜひ活用してください。

■ 体育祭を行いました！

6月5日(木)、陽光祭体育部門が開催されました。快晴かつ30度に迫る気温の中、今年は生徒席すべてにテントが設置され、最後の体育祭を満喫することができました。

結果・成績：総合優勝 桃団 準優勝 青団

ムカデ競争 1位4組 2位1組 3位7組

3年全員リレー 1位7組 2位1組 3位3組

運営に協力してくれた体育委員・応援団はじめ、多くの生徒の皆さん、ありがとうございました！



■ 進路関係の説明会【重要】

7月9日(水)5限 ・指定校推薦説明会 ・進路関係の提出書類の説明

7月10日(木)SHR後(大学進学予定者のみ)

・大学入学共通テスト説明会 ・大学出願における学校の決まりの説明

■ 夏期講習を活用しよう

6月25日に希望調査用紙が配布されました。申し込み締め切りは7月4日(金)です。各教科の受験対策講座だけでなく、進路部からの志望理由書講座・面接対策講座も毎年多くの希望者がいます。取り組みが早ければ早いほどチャンスは広がります。夏の時間を有効に使う！

■ 卒業アルバムの撮影が始まっています

6月から日常風景や部活動ごとの撮影が始まり、25日(水)には個人写真の撮影を行いました。これからクラス写真と学年全体写真の撮影や、クラスページの作成など進行していきます。各クラスのアルバム委員さん、よろしくお願いします！

■ 学年担任団の「思い出」はじまります

学年だより今月号から、学年の先生方の「学生時代の思い出」を裏面に掲載していきます。残り少ない学校生活で先生方と語らうきっかけにしたいと思っています。

7月	行事予定
3日(木)	期末考査 最終日 卒業アルバム写真撮影
5日(土)	総合学力記述模試 (申し込み生徒のみ)
9日(水)	進路説明会 (指定校推薦・提出書類)
10日(木)	進路説明会 (共通テスト・出願方法)
15日(火)	芸術鑑賞教室
16日(水)	進路ガイダンス (面接指導)
17日(木)	大掃除・学年集会
18日(金)	1学期終業式

お知らせ

お知らせ

■夏季休業中の

三者面談について■

対象：

- 大学進学希望者のうち、学校推薦型選抜(指定校・公募)および総合型選抜を受験する生徒
- その他希望する生徒

※各クラスからの案内文書をご確認ください。

～今月の裏面～

今月は

8組 佐々木輝先生

3組 瀬尾美香先生

です。

さて、2人の共通点は…？



～49 期担任団 学生時代の思い出 Vol.1～

8組担任 佐々木輝

私が生まれ育ったのは、長野県の南部にある飯田市という町です。南アルプスの山々に囲まれた自然豊かな土地で、四季折々の風景がとても美しい場所です。春には桜、夏には緑深い山々、秋は紅葉、冬は雪景色、通学路には猿、電車は鹿と人身事故？を起こしてよく遅延する、そんな大自然を身近に感じながら育ちました。

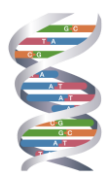


1年2組の教室からの風景

高校時代は、理科と数学をはじめ勉強にとにかく頑張っていました、それ以上に行事や部活動が充実していて、部活動・委員会・文化祭の長なども任せてもらえたので、毎日がとにかく忙しく、でも楽しいそんな笑い転げるような日々でした。私の通っていた高校は行事にとっても力を入れていて、球技大会はなんと年に2回も開催され、学年を超えて本気の勝負が繰り広げられました。文化祭も大きなイベントで、準備期間も含めて学校全体が一つになります。しかも前夜祭・中夜祭・後夜祭まであり、3日間にわたって盛り上がります。部活動ではバレーボール部に所属し、朝と放課後に毎日体育館で汗を流していました。試合で悔しい思いをしたこともありましたが、あの時間は今でもかけがえのない宝物です。

進路を考える中で、医師や薬剤師にも興味がありましたが、あるとき「薬を開発すればその薬で治せる世界中の人の助けになる。それで助かる人は多いし効率が良い」と思いました。これがきっかけで、私は創薬の道を志し、薬の研究開発ができる大学への進学を決めました。

大学では、遺伝性疾患である鎌状赤血球症の治療薬開発を通して「エピジェネティクス」という分野を研究しました。これは、DNAそのものの配列を変えずに、どの遺伝子が働くかをコントロールする仕組みです。たとえば、全く同じ設計図（DNA）を持っていても、細胞が皮膚になったり、神経になったりする——その不思議さと緻密な仕組みに、私はすっかり魅了されました。目に見えないミクロの世界で、生命がどれだけ精巧に作られているかを知るたびに、その神秘さに感動しました。



高校と大学で「自分がワクワクすること」を見つけられたこと、一生懸命取り組めたことがいまの自分を作っていると思います。目の前のことに一生懸命取り組んでいれば、きっと何かがつながっていきます。皆さんの未来が、自分らしい輝きに満ちたものであるよう、心から応援しています。

=====

3組担任 瀬尾美香

能登半島は日本海に突き出た、大きな口を開けたような形の半島です。私はその能登半島の玄関口にあたる地域で生まれ育ちました。出身高校は能登の中核都市、七尾市にある公立高校で、20分ほどの電車通学でした。



高校時代はなぜか数学と物理が得意で、2年次から理系クラスを選択しました。理系クラスは男子が30名、女子は10名ほどと少なく、その少ない女子で団結して過ごし、行事なども頑張った思い出があります。その後文転して私大文系に進学したので、数学と物理のことは聞かないでください。部活動は軟式テニス部（今のソフトテニス部）に所属し、雨で部活が中止になるとみんなでカラオケに繰り出したり部室でしゃべったり。高校時代が楽しかったから、今この仕事をしているのかもしれません。

高校卒業後、東京・小平にある大学の英文科に進学しました。都会過ぎず、のびのびと学生生活を送りましたが、入学して痛感したのは圧倒的な英語力不足でした。そこで大学1年の終わりに一念発起し、1カ月半のイギリス語留学をしました。幸い良い家庭にホームステイすることができ、英語力もある程度自信がつけました。通っていた語学学校ですが、先日検索してみたらなくなっていたのはショックでした。サークルはESS (English Speaking Society) に所属しました。英語劇 (Drama) セクションで仲間たちと舞台を創ることに熱を上げてしまい、学業の方は…。女子大だったため近所にある大学と合同で活動し、毎年大きな会館で公演を行



舞台セットを荒川河川敷で
燃やす前の写真

い複数の大学と日本一を競ったことが一番の思い出です。

能登半島は現在、地震からの復興途中です。沢山の人に目を向けてもらうことで復興は加速するはず。進路が決まって落ち着いたたら、ぜひ一度訪れてみてください。

みなさんの高校生活、そしてこれからが、振り返ってキラキラ✨と楽しいものになることを心から祈っています。卒業まで一緒に頑張りましょう！